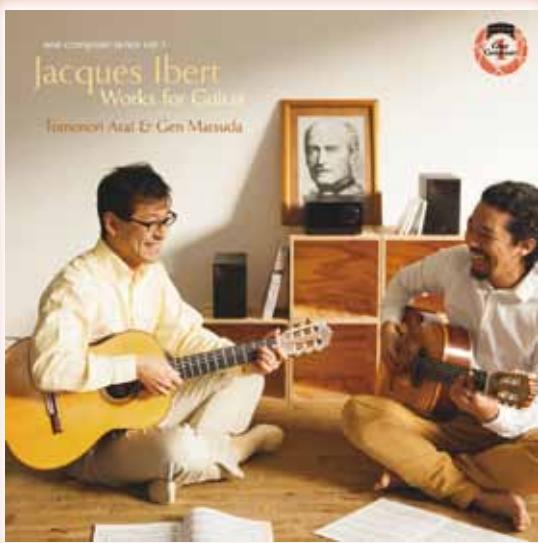




ワン・コンポーザー・シリーズ vol.1

ギターのための ジャック・イベール作品集



新井伴典プロデュース、ひとりの作曲家に焦点を当てた
「ワン・コンポーザー・シリーズ」の第1弾はジャック・イベール!
フランスの作曲家ながらその作品に通底するスペインの響きは、
ギターでの演奏によってより華やかに香り立つ!

新井伴典と松田弦による息を呑むほど鮮やかなデュオにより、
イベールの新しい世界が開きます。

新井伴典 & 松田弦 (ギター)

new CD 2016.8.25 on Sale !

収録曲目

寓話 Paraboles

- ① |
- ② ||

③ フランセーズ Française

15 の絵画による小組曲 *Petite Suite en quinze images / Petite Suite in fifteen pictures*

- ④ 前奏曲 *Prelude*
- ⑤ ロンド *Ronde*
- ⑥ 陽気なぶどう作り *Le gai vigneron / The Gay Wine-Grower*
- ⑦ 星たちへの子守歌 *Berceuse aux étoiles / Lullaby under the Stars*
- ⑧ 吸気な騎手 *Le Cavalier sans souci / Carefree Knight*
- ⑨ 開兵式 *Parade*
- ⑩ そりに乗ってひと回り *La Promenade an traîneau / Sleigh Ride*
- ⑪ ロマンス *Romance*
- ⑫ カドリーユ *Quadrille*
- ⑬ 水上のセレナード *Sérénade sur l'eau / Serenade on the Water*
- ⑭ ミシン *La Machine à coudre / The Sewing Machine*
- ⑮ 別れ *L'Adieu*
- ⑯ クロッカス *Le Crocus / The Crocus*
- ⑰ 初めての舞踏会 *Premier bal / First Ball*
- ⑱ 御者のダンス *Danse du cocher / Cabman's Dance*

⑯ 水上の朝 *Matin sur l'eau / Morning on the water*

⑳ リリパット村の悪戯っ子 *L'espiègle au village de Lilliput / Mischief in the village of Lilliput*

㉑ ルーセルの名によるトッカータ

Toccata sur le nom d'Albert Roussel / Toccata on the name of Albert Roussel

㉒ アリエット [新井ソロ] *Ariette [Arai Solo]*

㉓ スケルツォット *Scherzetto*

物語 Histoires / Stories

- ㉔ 金の亀を使う女 *La meneuse de tortues d'or / The leader of the golden tortoises*
- ㉕ 小さな白い馬 *Le petit âne blanc / The little white donkey*
- ㉖ 年老いた乞食 *Le vieux mendiant / The old beggar man*
- ㉗ 風変わりな娘 *A giddy girl*
- ㉘ 悲しみの家で *Dans la maison triste / In the sad house*
- ㉙ 廃墟の宮殿 *Le palais abandonné / The deserted palace*
- ㉚ 机の下で *Bajo la mesa / Below the mesa*
- ㉛ 水晶の籠 *La cage de cristal / The crystal cage*
- ㉜ 水売り女 *La marchande d'eau fraîche / The woman who sells fresh water*
- ㉝ バルキス女王の行列 *Le cortège de Balkis / The procession of balkis*

ジャック・イベール *Jacques Ibert*

ジャック・フランソワ・アントワーヌ・イベール (Jacques François Antoine Ibert 1890年8月15日 - 1962年2月5日) は、パリ生まれのフランス人作曲家。しばしば彼の作風は、軽妙、洒脱、新鮮、洗練などといった言葉で評される。1910年イベールはパリ音楽院に入学しフランス6人組のダリウス・ミヨーらとともに過ごし、とりわけオーケストレーションにおいてはモーリス・ラヴェルからも一目置かれる存在となる。第一次世界大戦中(1914 ~ 18)は海軍士官を務め1914年に音楽院を卒業する。5年後の1919年、カンタータ〈詩人と妖精〉にてローマ大賞(芸術を専攻する学生に対してフランス国家が授与した奨学金付留学制度)を受賞。1923年まで3年間ローマに留学、ここで代表作〈寄港地〉などを作曲する。1937年からローマのフランス・アカデミーの館長に任命される。1940年第二次世界大戦中、大日本帝国政府より皇紀2600年の式典のためにナチス占領下のフランス政府を通して作曲を委嘱され〈祝典序曲〉を作曲。1955年から1957年までパリのオペラ=コミック座の監督を務め、1962年にパリにて死去。

新井伴典 *Tomonori Arai*

東京、渋谷生まれ。6才よりギターを父、和夫に師事。ジュニアギターコンクール・学生ギターコンクール・第6回スペインギター音楽コンクールで優勝し、92年ドイツ国立ケルン音楽大学入学。2000年ドイツ国家演奏家資格コース終了。ドイツ滞在中にヨーロッパ各地の主なコンクールで入賞する。現在までに原善伸、佐々木忠、ゾーラン・デュキッヒ、トマス・ミュラー=ペリングに師事。ALM RECORDSより3つのソロアルバム「アブリール(2005年)」「スペインの城(2006年)」「シンプル・エッセンス(2011年)」はいずれも『レコード芸術』誌にて特選盤に選出、GGレーベルよりアルボリール・ギタートリオ「アルボリズム(2006年)」、ウッドノートスタジオレーベルより松田弦とのギターデュオ「夏の列島(2011年)」、宮下仁司とのギターデュオ「夏国のかく(2014年)」をリリース。2016年4月にはオクタヴィアレコードよりフルート奏者の上野由恵とのアルバム「ビレーネを越えて」を発表。2013年と2015年はJELA(日本福音ルーテル社団)主催の「世界の子ども支援チャリティコンサート」にフルート奏者の上野由恵と出演し全国12ヶ所のツアーを行う。現在までにドイツ、ポーランド、オーストリア、イタリア、チェコ、ベルギー、フランス、タイ、フィリピン、インドネシア、ネパールで演奏。後進の指導にも努め、門下生の入賞歴は140を超える。上野学園大学クラシックギター科非常勤講師(大学、短大、高校、中学)。現代ギター GG学院講師。

<http://www.arai-guitar.com>

松田弦 *Gen Matsuda*

16才からクラシックギターを始める。高知県立岡豊高等学校音楽コースギター専攻科卒。2009年、第52回東京国際ギターコンクール第1位、第9回アジア国際ギターコンクール(タイ、バンコク)第1位を始め、2000年~2009年までに国内外7つのコンクールで第1位受賞。2013年、アントニ国際ギターコンクール(フランス)第1位、合わせて課題曲賞と聴衆賞を受賞。2007年に初のソロ・リサイタルを行う。2009年、ファースト・アルバム『GENIUS』発売。2011年、新井伴典氏とのデュオ『夏の列島』発売。2013年発売のアルバム『弦想～gen-soul～』でキングレコードよりメジャー・デビュー。2014年キングレコードより2枚目のアルバム『esperanza』をリリース。2枚とも『レコード芸術』誌にて特選盤となる。また、高知県下の小中学校を中心にクラシックギターの魅力を伝えるための演奏会を行っている。これまでに日本各地を始め、オーストリア(ウィーン・コンツェルトハウス)、ドイツ、タイ、フィリピンなどでもリサイタルを行う。クラシック以外のアーティストとの共演も多く、活動の幅を広げている。これまでに松居孝行、村治昇、新井伴典の各氏に師事。2011年より、フランス、ストラスブル音楽院にて、アレクシス・ムズラキス、今村泰典の両氏に師事。2013年よりオーストリア、ウィーンにて研鑽を積み、2014年にはイタリア、ボルデノーネのセゴビアギターアカデミーにて、パオロ・ペゴーロ、アドリアーノ・デル・サルに師事。2016年1~6月、スペイン、アリカンテ大学主催のマスター修習課程を修了。

<http://www.matsuda-gen.com>

●本体価格 2,700円+税

●品番: WNCD-1020

●JANコード: 4582373240208

●全国有名楽器店、Amazon.co.jp、他にて販売

好評発売中!



『夏の列島』新井伴典&松田弦
WNCD-1004
本体価格2,500円+税
『夏の庭』(Summer)(島唄)他



『夏国のかく』新井伴典&宮下仁司
WNCD-1013
本体価格2,500円+税
『あの夏へ』(アンダマンの真珠)他

発売元: ウッドノート・スタジオ

<http://www.kyoto.zaq.ne.jp/woodnote/>

woodnote@kyoto.zaq.ne.jp

